

吹田市中核市移行基本計画（案） 新旧対照表

該当ページ	<旧> 吹田市中核市移行基本計画（案）【平成30年（2018年）5月】	<新> 吹田市中核市移行基本計画（案）【平成30年（2018年）7月】	考え方（案）																																																
表紙・裏表紙	平成30年（2018年）5月	平成30年（2018年）7月	作成日を時点更新。																																																
目次・P37・39・40・45	10 人員体制 11 中核市移行推進体制 12 中核市移行に伴う財政的影響額の見込み等 13 市民への周知 14 職員研修	10 人員体制 11 職員研修 12 中核市移行推進体制 13 中核市移行に伴う財政的影響額の見込み等 14 市民への周知	「人員体制」の次に「職員研修」を位置付けて、中核市移行に向けた準備体制を分かりやすくするため構成変更。																																																
目次・P48	参考資料 中核市移行に向けたこれまでの市の取組	参考資料 中核市移行に向けたこれまでの市の取組等	本編との違いをより分かりやすくするため修正。取組以外の項目もあるため「等」を追加。																																																
P1	中核市制度は、地方分権を推進する方策の一つとして、平成7年（1995年）に創設されました。	中核市制度は、地方分権を推進する方策の一つとして、平成7年（1995年）に創設されました。それ以降も、 <u>機関委任事務制度の廃止、地方に対する規制緩和（義務付け・控付けの見直し）、権限移譲など、現在に至るまで、地方分権改革として、地方自治体の役割と責任の範囲が大幅に拡大されています。</u>	中核市制度創設以降の国の取組内容を追加。																																																
P3	※括弧内は平成30年（2018年）4月1日現在の人口	※括弧内は中核市指定時の人口	説明に誤りがあったため修正。																																																
P4	—	(4) 4段落目に追加 また、 <u>中核市相互の協力による取組として、災害により被害を受けた都市が独自では十分な応急措置が実施できない場合に、被害を受けていない都市が相互に応援協力することを目的に、中核市災害相互応援協定を締結することになります。</u>	中核市災害相互応援協定についての内容を追加。																																																
P9	医療的ケア児、小児慢性特定疾患児等	医療的ケア児、小児慢性特定疾病児等	文言修正。																																																
P10	—	「ヘルスプロモーション（健康増進）の概念図」を追加	何の図か分かるように追加。																																																
P11	不妊治療に関する専門相談は保健センター	専門医などによる不妊治療相談については保健センター	文言修正。																																																
P15	保健医療分野の行政を司る保健所業務	保健医療分野の行政をつかさどる保健所業務	文言修正。																																																
P25	—	「●社会福祉審議会構成（案）」を追加	分かりやすいように追加。																																																
P28	●学校園からのニーズを汲み取り	●学校からのニーズを汲み取り	保育園・幼稚園は対象外のため修正。																																																
P35	(3) 平成31年度（2019年度） ア 中核市移行に向けた準備体制（予定） <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>職種</th> <th>人数</th> <th>業務の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">行政経営部 中核市移行準備室</td> <td>事務職</td> <td>5人（内1名兼務）</td> <td rowspan="2">中核市移行に関する業務全般（原則、保健所の設置に関する業務を除きます） 主に環境衛生に関する事務の検討を担当（検査等の実施や組織の検討など）</td> </tr> <tr> <td>化学職</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">健康医療部 保健所設置準備室</td> <td>事務職</td> <td>5人（内2名兼務）</td> <td rowspan="2">保健所の設置にかかる業務全般 （移譲事務、組織、職員体制、施設等の検討、人材確保など）</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>学校教育部 教育センター</td> <td>指導主事</td> <td>1人</td> <td>・府研修への参加等による情報収集及び分析 ・吹田市教職員研修計画実施要項及び資料の作成</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>14人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※人数については、平成30年度（2018年度）の人数を記載しています。</p>	所属	職種	人数	業務の内容	行政経営部 中核市移行準備室	事務職	5人（内1名兼務）	中核市移行に関する業務全般（原則、保健所の設置に関する業務を除きます） 主に環境衛生に関する事務の検討を担当（検査等の実施や組織の検討など）	化学職	1人	健康医療部 保健所設置準備室	事務職	5人（内2名兼務）	保健所の設置にかかる業務全般 （移譲事務、組織、職員体制、施設等の検討、人材確保など）	保健師	2人	学校教育部 教育センター	指導主事	1人	・府研修への参加等による情報収集及び分析 ・吹田市教職員研修計画実施要項及び資料の作成	合計		14人		(3) 平成31年度（2019年度） ア 中核市移行に向けた準備体制（予定） <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>職種</th> <th>人数</th> <th>業務の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">行政経営部 中核市移行準備室</td> <td>事務職</td> <td>4人</td> <td rowspan="2">中核市移行に関する業務全般（原則、保健所の設置に関する業務を除きます） 主に環境衛生に関する事務の検討を担当（検査等の実施や組織の検討など）</td> </tr> <tr> <td>化学職</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">健康医療部 保健所設置準備室</td> <td>事務職</td> <td>4人（内1名兼務）</td> <td rowspan="2">保健所の設置にかかる業務全般 （移譲事務、組織、職員体制、施設等の検討、人材確保など）</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>学校教育部 教育センター</td> <td>指導主事</td> <td>3人</td> <td>・府研修への参加等による情報収集及び分析 ・吹田市教職員研修計画実施要項及び資料の作成</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>14人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	所属	職種	人数	業務の内容	行政経営部 中核市移行準備室	事務職	4人	中核市移行に関する業務全般（原則、保健所の設置に関する業務を除きます） 主に環境衛生に関する事務の検討を担当（検査等の実施や組織の検討など）	化学職	1人	健康医療部 保健所設置準備室	事務職	4人（内1名兼務）	保健所の設置にかかる業務全般 （移譲事務、組織、職員体制、施設等の検討、人材確保など）	保健師	2人	学校教育部 教育センター	指導主事	3人	・府研修への参加等による情報収集及び分析 ・吹田市教職員研修計画実施要項及び資料の作成	合計		14人		中核市移行準備室及び保健所設置準備室については、今年度の実働体制に合わせて修正。 教育センターについては、職員体制評価委員会実施後の数字に修正。
所属	職種	人数	業務の内容																																																
行政経営部 中核市移行準備室	事務職	5人（内1名兼務）	中核市移行に関する業務全般（原則、保健所の設置に関する業務を除きます） 主に環境衛生に関する事務の検討を担当（検査等の実施や組織の検討など）																																																
	化学職	1人																																																	
健康医療部 保健所設置準備室	事務職	5人（内2名兼務）	保健所の設置にかかる業務全般 （移譲事務、組織、職員体制、施設等の検討、人材確保など）																																																
	保健師	2人																																																	
学校教育部 教育センター	指導主事	1人	・府研修への参加等による情報収集及び分析 ・吹田市教職員研修計画実施要項及び資料の作成																																																
合計		14人																																																	
所属	職種	人数	業務の内容																																																
行政経営部 中核市移行準備室	事務職	4人	中核市移行に関する業務全般（原則、保健所の設置に関する業務を除きます） 主に環境衛生に関する事務の検討を担当（検査等の実施や組織の検討など）																																																
	化学職	1人																																																	
健康医療部 保健所設置準備室	事務職	4人（内1名兼務）	保健所の設置にかかる業務全般 （移譲事務、組織、職員体制、施設等の検討、人材確保など）																																																
	保健師	2人																																																	
学校教育部 教育センター	指導主事	3人	・府研修への参加等による情報収集及び分析 ・吹田市教職員研修計画実施要項及び資料の作成																																																
合計		14人																																																	

吹田市中核市移行基本計画（案） 新旧対照表

（平成30年度）

該当ページ	<旧> 吹田市中核市移行基本計画（案）【平成30年（2018年）5月】	<新> 吹田市中核市移行基本計画（案）【平成30年（2018年）7月】	考え方（案）																												
P35	<p>イ 府への派遣職員（予定） 平成30年度（2018年度）に引き続き、市職員の派遣研修の受入れについて、府に要望します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>職種</th> <th>人数</th> <th>派遣先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">保健・衛生</td> <td>保健師、薬剤師</td> <td rowspan="2">15人程度</td> <td>吹田保健所</td> </tr> <tr> <td>獣医師等</td> <td>茨木保健所 府健康医療部保健医療室各課 等</td> </tr> <tr> <td>環境</td> <td>事務職</td> <td>1～2人</td> <td>環境農林水産部循環型社会推進室</td> </tr> </tbody> </table> <p>※職種と人数については、先行市の事例を参考にしており、詳細については今後、府と協議を進めていきます。 ※今後、現在の業務の整理や事務の見直しを行うことにより、新規採用人数を精査しますので、必ずしも増員分全てを採用するものではありません。</p>	部門	職種	人数	派遣先	保健・衛生	保健師、薬剤師	15人程度	吹田保健所	獣医師等	茨木保健所 府健康医療部保健医療室各課 等	環境	事務職	1～2人	環境農林水産部循環型社会推進室	<p>イ 府への派遣職員（予定） 平成30年度（2018年度）に引き続き、市職員の派遣研修の受入れについて、府に要望します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>職種</th> <th>人数</th> <th>派遣先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">保健・衛生</td> <td>保健師、薬剤師</td> <td rowspan="2">19人</td> <td>吹田保健所</td> </tr> <tr> <td>獣医師等</td> <td>茨木保健所 府健康医療部保健医療室各課 等</td> </tr> <tr> <td>環境</td> <td>事務職</td> <td>1人</td> <td>環境農林水産部循環型社会推進室</td> </tr> </tbody> </table> <p>※詳細については今後、府と協議を進めていきます。 ※今後、現在の業務の整理や事務の見直しを行うことにより、新規採用人数を精査しますので、必ずしも増員分全てを採用するものではありません。</p>	部門	職種	人数	派遣先	保健・衛生	保健師、薬剤師	19人	吹田保健所	獣医師等	茨木保健所 府健康医療部保健医療室各課 等	環境	事務職	1人	環境農林水産部循環型社会推進室	保健・衛生部門については、職員体制評価委員会実施後の数字に修正。 環境部門については、府との協議人数に修正。
部門	職種	人数	派遣先																												
保健・衛生	保健師、薬剤師	15人程度	吹田保健所																												
	獣医師等		茨木保健所 府健康医療部保健医療室各課 等																												
環境	事務職	1～2人	環境農林水産部循環型社会推進室																												
部門	職種	人数	派遣先																												
保健・衛生	保健師、薬剤師	19人	吹田保健所																												
	獣医師等		茨木保健所 府健康医療部保健医療室各課 等																												
環境	事務職	1人	環境農林水産部循環型社会推進室																												
P37	<p>中核市への移行に向けては、市民への周知はもとより、市職員自身が制度や内容について十分に理解しておくことが必要です。 (略)</p>	<p>中核市への移行に向けては、市民への周知はもとより、市職員自身が制度や内容について十分に理解し、更に、業務を遂行するうえでの心構えや対応策などをしっかりと学んでおくことが必要です。 (略) また、平成30年度（2018年度）、平成31年度（2019年度）と、市職員を府に派遣し、知識の習得をはじめ、現場対応力やマネジメント力の養成などに取り組んでいきます。</p>	職員研修の意義について、説明を追加。																												
P37	—	<これまでの経過>	これまでに実施した研修であることを、より分かりやすくするために追加。																												
P38	—	「（7）中核市移行を見据えた地方分権改革について～地方の声で国の制度を変え、地域の課題解決を実現～」を追加	職員研修についての項目を時点更新。																												
P37・38・49～51	—	講師名を削除	個人名を削除。																												
P39	本部長：後藤市長 副本部長：春藤副市長、辰谷副市長	本部長：市長 副本部長：副市長	文言修正。																												
P39	座長：春藤副市長 副座長：辰谷副市長	座長：行政経営部担当副市長 副座長：他の副市長	文言修正。																												
P40	後年度の地方交付税	後年度の普通交付税	文言修正。																												
P40	40ページ参照	42ページ参照	ページ数が変わったため修正。																												
P40	<table border="1"> <tr> <td>事業費</td> <td>648,843</td> <td>府積算額</td> </tr> </table>	事業費	648,843	府積算額	<table border="1"> <tr> <td>事業費（府積算額）</td> <td>648,843</td> <td>民生 423,709千円、保健衛生 222,352千円、環境 1,975千円、都市計画・建設 341千円、文教 466千円</td> </tr> </table>	事業費（府積算額）	648,843	民生 423,709千円、保健衛生 222,352千円、環境 1,975千円、都市計画・建設 341千円、文教 466千円	事業費（府積算額）の分野ごとの内訳を追加。																						
事業費	648,843	府積算額																													
事業費（府積算額）	648,843	民生 423,709千円、保健衛生 222,352千円、環境 1,975千円、都市計画・建設 341千円、文教 466千円																													
P42	—	影響額に全て「△」を追加	P38と見比べて、分かりやすいように修正。																												
P43	ア 平成29年度（2017年度）見込み	ア 平成29年度（2017年度）	金額が固まっているため修正。																												
P44	吹田市	吹田市（参考）	府内の先行中核市と区別するため追加。																												
P45	<p>平成29年（2017年）7月号の市報すいた等で、本市が平成32年度（2020年度）に中核市移行を目指していることを発信した後、市のホームページにおいて広く情報発信に取り組んできました。また、平成30年（2018年）4月号の市報すいたで更なる周知を図りました。 今後は、中核市移行に向けた取組について概要をまとめたリーフレットを市内全戸配布するとともに、中核市移行についての意見交換会や出前講座などを通じて市民の皆様丁寧な説明を行い、御意見等もお聞かせいただきながら、検討を進めていきます。</p>	<p>平成29年（2017年）7月号の市報すいた等で、本市が平成32年度（2020年度）に中核市移行を目指していることを発信した後、市のホームページにおいて広く情報発信に取り組むとともに、平成30年（2018年）4月号の市報すいたで更なる周知を図りました。 また、平成30年（2018年）6月には、中核市移行に向けた取組について概要をまとめたリーフレットを市内全戸配布するとともに、中核市移行についての意見交換会や出前講座を実施しました。 引き続き、出前講座などを通じて市民の皆様丁寧に丁寧な説明を行い、御意見等もお聞かせいただきながら、検討を進めていきます。</p>	市民への周知についての説明を時点更新。																												
P46	—	（3）中核市移行についてのリーフレット （4）中核市移行についての意見交換会を追加	市民への周知についての項目を時点更新。																												

吹田市中核市移行基本計画（案） 新旧対照表

(平成30年度)

該当ページ	<旧> 吹田市中核市移行基本計画（案）【平成30年（2018年）5月】	<新> 吹田市中核市移行基本計画（案）【平成30年（2018年）7月】	考え方（案）																		
P47	府との協議や国との手続等を進めていきます。	府との協議や国への手続等を進めていきます。	文言修正。																		
P47	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年月</th> <th>会議名称等</th> <th>補足</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年 5月 (2018年)</td> <td>「吹田市中核市移行基本計画（案）」の策定</td> <td>概略版のリーフレットについても、全戸配布予定</td> </tr> <tr> <td>5月 ～6月</td> <td>「吹田市中核市移行基本計画（案）」のパブリックコメントを実施</td> <td>同時に、中核市移行についての意見交換会を開催予定</td> </tr> </tbody> </table>	年月	会議名称等	補足	平成30年 5月 (2018年)	「吹田市中核市移行基本計画（案）」の策定	概略版のリーフレットについても、全戸配布予定	5月 ～6月	「吹田市中核市移行基本計画（案）」のパブリックコメントを実施	同時に、中核市移行についての意見交換会を開催予定	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年月</th> <th>会議名称等</th> <th>補足</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年 5月 (2018年)</td> <td>「吹田市中核市移行基本計画（案）」の策定</td> <td>概略版のリーフレットについても、全戸配布</td> </tr> <tr> <td>5月 ～7月</td> <td>「吹田市中核市移行基本計画（案）」のパブリックコメントを実施</td> <td>同時に、中核市移行についての意見交換会を開催</td> </tr> </tbody> </table>	年月	会議名称等	補足	平成30年 5月 (2018年)	「吹田市中核市移行基本計画（案）」の策定	概略版のリーフレットについても、全戸配布	5月 ～7月	「吹田市中核市移行基本計画（案）」のパブリックコメントを実施	同時に、中核市移行についての意見交換会を開催	リーフレットの配布やパブリックコメント等について時点更新。
年月	会議名称等	補足																			
平成30年 5月 (2018年)	「吹田市中核市移行基本計画（案）」の策定	概略版のリーフレットについても、全戸配布予定																			
5月 ～6月	「吹田市中核市移行基本計画（案）」のパブリックコメントを実施	同時に、中核市移行についての意見交換会を開催予定																			
年月	会議名称等	補足																			
平成30年 5月 (2018年)	「吹田市中核市移行基本計画（案）」の策定	概略版のリーフレットについても、全戸配布																			
5月 ～7月	「吹田市中核市移行基本計画（案）」のパブリックコメントを実施	同時に、中核市移行についての意見交換会を開催																			
P49	第2回中核市移行推進部会【環境・都市計画】 1. 市長訓示 2. 豊中市職員による産業廃棄物処理事業の説明	第2回中核市移行推進部会【環境・都市計画】 【講師】豊中市環境部事業ごみ指導課長、同課産業廃棄物指導係長 【場所】全員協議会室 【内容】豊中市の産業廃棄物行政の現状について	他の記載内容に合わせて修正。																		
P49	中核市移行に関する職員研修 1 【内容】 1. 市長訓示 2. 吹田保健所の保健衛生行政について	中核市移行に関する職員研修 1 【内容】吹田保健所の保健衛生行政について	市長訓示は研修「内容」ではないため削除。																		
P51	—	10月に「第4回吹田市保健所業務移管検討ワーキング会議」を追加。	記載漏れのため追加。																		
P52	環境省環境再生・資源循環局制度企画室 相澤室長による研修	【講師】環境省環境再生・資源循環局制度企画室主幹 【参加者】38人 【場所】研修室 【内容】中核市の業務について～廃棄物関係の業務を例に～	他の記載内容に合わせて修正。																		
P53	—	4月に「新規採用職員研修」を追加	記載漏れのため追加。																		
P53・54	—	5～7月のこれまでの取組を追加	これまでの取組を時点更新。																		